

はじめに

最近の英語学習において、「思考力・判断力・表現力」という言葉がよく聞かれるようになり、その力を試す問題が実際に大学入試においても増えています。「思考力・判断力・表現力」を持っているとはどういうことでしょうか。それは、単に英単語をたくさん知っていて文法や構文などの知識を持っているというだけではなく、「得た情報をもとに自分で考え、自分で判断し、自分なりに表現する力」を持っているということです。そのような力を身につけるためには、従来の英単語学習や英文法学習に加え、英文を読んで得た情報から自分で判断・推測したり、グラフなどで与えられた情報について自分なりの意見を述べたりするといったような練習をする必要があります。

また、「技能統合」という言葉もよく耳にするでしょう。これは、英語学習において「読む力、書く力、聞く力、話す力」を総合的に身につけるといえることです。最近の大学入試でも、これらの力を個別に試すのではなく、「読む力+書く力」を試す問題、「聞く力+書く力」を試す問題といったように、4つの技能のうちの複数を試そうとする「技能統合問題」が増えつつあります。このような問題に対しては、演習の量を増やして少しずつ慣れてゆく必要があります。

『真・英語力トレーナー』（全3巻）は、このような状況を踏まえ、「思考力・判断力・表現力」および、「技能統合問題に対応する力」を養成するために皆さんにとって絶好の練習素材となるよう構成されています。本書を通して、皆さんが変わりゆく大学入試英語に対応できる力を身につけ、志望する大学に合格されることを切に願っています。

A journey of a thousand miles must start with the first step.

「千里の道も一歩から」

著者一同

『真・英語力トレーナー』でどのような力を養成できるのか

『真・英語力トレーナー』は、全3巻からなります。すべてオリジナルの英文を用いています。第1巻は、「思考力・判断力・表現力」および「技能統合問題に対応する力」の土台を築く基礎編です。大学入試を考えている高校1年生～2年生は、まず第1巻・基礎編から取り組むとよいでしょう。

第2巻と第3巻（本書）は応用編で、「思考力・判断力・表現力」を試す問題を扱い、さらに「4技能（読む力・書く力・聞く力・話す力）」のうちの複数を試す「技能統合問題」も扱います。それらの演習問題に取り組むことで、実際の入試に対応できる実戦力を養います。入試を間近に控えた高校2年生～3年生に適しています。

第3巻・応用編②の構成

本書（第3巻・応用編②）は「演習問題パート」と「解答・解説パート」（別冊）で構成されています。第3巻では、大学入試で扱われるレベルの英文を用いて、**記述問題**を中心に扱います。

◆演習問題パート

演習問題パートは**STEP 1～3**で構成されています。各**STEP**とも**Reading**と**Writing**を中心に扱い、**STEP 1, 2**では**Listening**も扱います。

STEP 1, 2

STEP 1の**Reading**では、大学入試英語における標準レベルの英文を扱い、**STEP 2**の**Reading**では、大学入試英語における発展レベルの英文を扱います。**Reading**問題の設問は「思考力・判断力・表現力」を試すものが中心です。各問題には**標準解答時間**が設定されています。その時間に合わせて解答するように心がけましょう。

STEP 1, 2の**Writing**の問題は、図表やイラストやある状況の説明をしたり、ある条件の中で自分の考えを自由に述べたりする、いわゆる「自由英作文」が中心です。**Writing**の問題にも**標準解答時間**が設けられていますので、その時間に合わせて答案を作成してください。

STEP 1, 2で扱われる**Listening**問題は、音声による情報とイラスト（地図）による情報を総合して考える問題、ディクテーション（書き取り）、対話文の内容理解を問う英問英答問題です。一度聞いただけでは答えられない問題はくり返し音声を聞き、必ず自分なりの答案を作ってから解答・解説を参照してください。

STEP 3

STEP 3は、「技能統合問題」です。ここでは、近年の大学入試において増加傾向にある**Reading**の力と**Writing**の力を総合的に試すタイプの技能統合問題を扱います。**STEP 3**の問題にも、**標準解答時間**が設けられていますので、その時間を守って解答してください。

◆ Reading 問題の音源について

演習問題パートの最後に、**Review** を掲載しています。**Review** は **Reading** で使用した英文を再収録したものです。問題の復習や、後述の音読練習の際に活用してください。詳しくは p.107～p.109 の「音声のダウンロードの方法」と「音読練習の方法・効果について」を参照してください。

◆ 「解答・解説パート」

「演習問題」の解答・解説は、別冊の「解答・解説パート」に掲載されています。

STEP 1, 2 の **Reading** については、**解答** → **設問解説** → **全訳** の順に、**Writing** については **解答例** → **設問解説** → **設問解説** → **Useful Expressions** の順に、**Listening** については、**解答** → **設問解説** → **読み上げられた英文** → **全訳** の順に掲載されています。**STEP 3** については、**解答** → **設問解説** → **全訳** の順に掲載されています。

「解答・解説パート」の巻末に、**Reading** で扱った英文の**重要表現リスト**が掲載されています。復習の際に活用してください。

略号・記号一覧

do : 動詞の原形あるいは原形不定詞

to do : 不定詞

doing : 動名詞あるいは現在分詞

done : 過去分詞

A / B : 名詞

X / Y : 任意の文法的に対等な要素

one / oneself : 任意の人またはものを表す
名詞・代名詞

() : 省略することができる語句

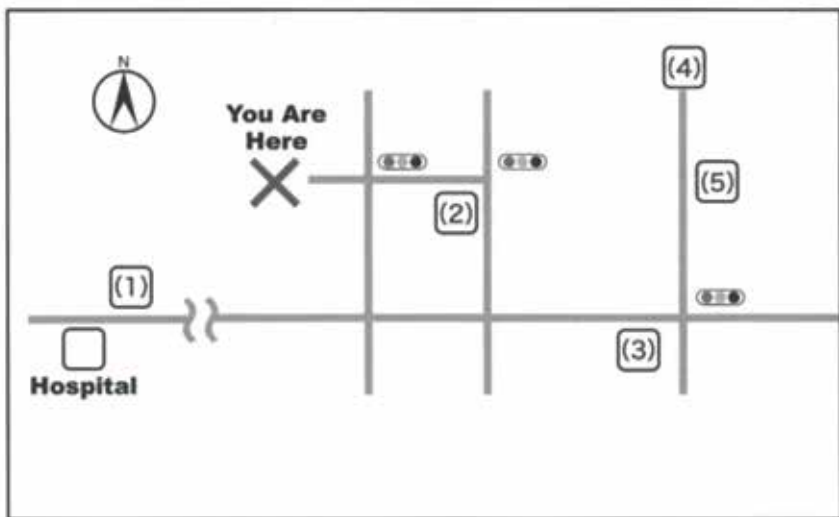
[] : 言い換えることができる語句

目次

STEP 1 標準レベル	007
Reading	007
Writing	037
Listening	041
STEP 2 発展レベル	044
Reading	044
Writing	082
Listening	086
STEP 3 技能統合問題	088
音声のダウンロードの方法	107
音読練習の方法・効果について	108
Review ①, ②	110

Listening

- 1 これから読まれる会話を聞いて、下の地図の(1)～(5)に該当する場所を選びなさい。同じ選択肢を繰り返し用いてはいけません。なお、×の場所が、会話をしている2人がいる場所です。



【選択肢】

- ・ Ace Supermarket
- ・ junior high school
- ・ new housing development
- ・ pet store
- ・ Summit Elementary School

Writing**1** (標準解答時間：10分)

These days, some serious accidents involving bicycles are reported. What do you think each of us should do to reduce the number of cyclist accidents? Write your opinion in about 70 words of English.


 A circular logo with a purple-to-pink gradient. Inside the circle, the word "STEP" is written in white, bold, uppercase letters at the top, and the number "3" is written in white, bold, uppercase letters below it.

技能統合問題

1 (標準解答時間：25分)

次の英文を読み、問いに答えなさい。

Why does it seem like we always have room for dessert? Most people have had the experience of eating so much they feel like they just can't take one more bite. ⁽¹⁾ But then a sweet dessert becomes available and suddenly they can eat a little more. It turns out people are not just being gluttonous. There is a scientific reason why we can fit some dessert into a full stomach, called "dessert stomach." It has to do with how our bodies evolved. Our senses of sight, smell and taste also play a part. Finally, the sugar in sweet desserts helps the stomach make way for a little bit more food.

The human body is a complex machine. To keep it working correctly, a person needs to eat a large variety of food with many different nutrients. In order to get a person to eat different foods, the brain sends a signal to the stomach when the person has eaten a lot of one type. For example, if a person eats a lot of meat, that person will feel full more quickly from meat, but will feel like they have room for vegetables. ⁽²⁾ 脳の目標は体が必要とするあらゆる物を手に入れることである。

Because most meals are made up of things that are savory and salty rather than (3), the brain will tell the stomach that there is room when presented with a sweet option.

The brain gets information about the food through the body's senses. The first sense involved is usually sight. A person who has eaten many different foods can often tell if a food will be sweet or not simply from looking at it. ⁽⁴⁾ Also, desserts are typically made to look sweet and delicious, so even if a person is not familiar with the dessert, the presentation makes it clear what the food will taste like. Smell plays a big part in telling the brain what to expect as well. Finally, taste delivers the verdict on whether a food is sweet or not.

The chemical makeup of sugar also plays a role in allowing a person to eat dessert after they are full. The body's full feeling comes from our brains as well as